

報道関係者各位

SBI プリズム少額短期保険株式会社
宮城県仙台市青葉区一番町2丁目1番1号
仙台銀行ビル7階

SBI インシュアランスグループ
アンケートシリーズ③

【ペット調査 2021】ペットの防災対策に関する調査
～約9割がペット防災グッズの定期的な見直しを実施～

SBI インシュアランスグループの事業会社6社は、昨年に続き各事業会社の特性に合わせたアンケート調査を実施いたしました。

ペット保険会社の SBI プリズム少額短期保険株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：遠藤 匡、以下「当社」）は、ペット飼育者に対して、「ペットの防災対策」に関するアンケート調査を実施し、ペットのための防災対策を行っている方547名から回答をいただきました。

概要は以下のとおりです。

■ 調査結果のサマリー

- ・ 防災対策を始めたきっかけは「実際に被災した」「目の当たりにした」から。
 - ・ 防災グッズは避難時だけでなく、実用性を兼ね備えたものを準備。
 - ・ ペットの防災グッズに求めるものは「価格」よりも「安全性」「使いやすさ」。
 - ・ ペットとの暮らしが長いと防災グッズにかかる費用も上がる。
 - ・ 約9割がペット防災グッズの定期的な見直しを実施。半数以上の方は年1回以上実施。
 - ・ 約7割が「ペットは飼い主との同行避難が原則」と知っている。
 - ・ 被災時はペットと一緒に周りの目を気にしなくてもよい「在宅避難」「車避難」が7割。
 - ・ ペットとの同行避難では「他人や他ペットとのトラブル」「ペットの体調」を危惧。
-

■ 調査概要

調査タイトル	「ペットの防災対策」に関するアンケート
調査方法	インターネットによる調査
調査期間	2021年9月24日～9月30日
調査対象	20歳以上の男女／ペット防災対策実施者
有効回答数	547名

■ 本件に関するお問い合わせ先

SBI プリズム少額短期保険株式会社 経営企画部

Phone: 03-5840-6221

e-mail: keieikikaku@sbiprism.co.jp

■ SBI プリズム少額短期保険株式会社の会社概要

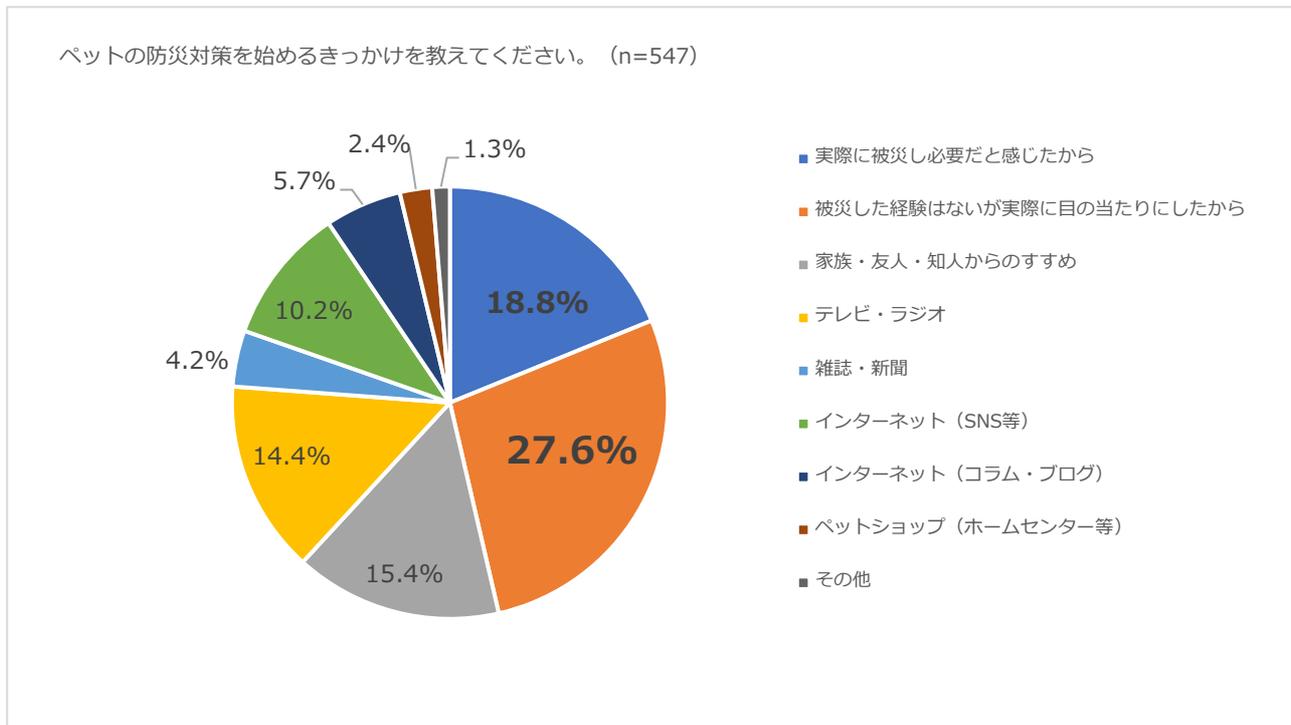
商号	SBI プリズム少額短期保険株式会社
所在地	仙台本社 宮城県仙台市青葉区一番町2丁目1-1 仙台銀行ビル7階 東京本社 東京都文京区本郷1丁目19番6号 太平ビル本館2階
設立	2002年11月22日
資本金	1億円
事業内容	少額短期保険業
URL	https://www.sbiprism.co.jp/

■ SBI インシュアランスグループについて

SBI インシュアランスグループは、日本のインターネット金融のパイオニアである SBI グループの保険事業を担う企業グループです。保険持株会社である SBI インシュアランスグループ株式会社のもと、当社を含む事業会社 7 社が一体となって総合的な保険事業を展開しています。

■調査結果 詳細

1、防災対策を始めたきっかけは「実際に被災した」「目の当たりにした」から。



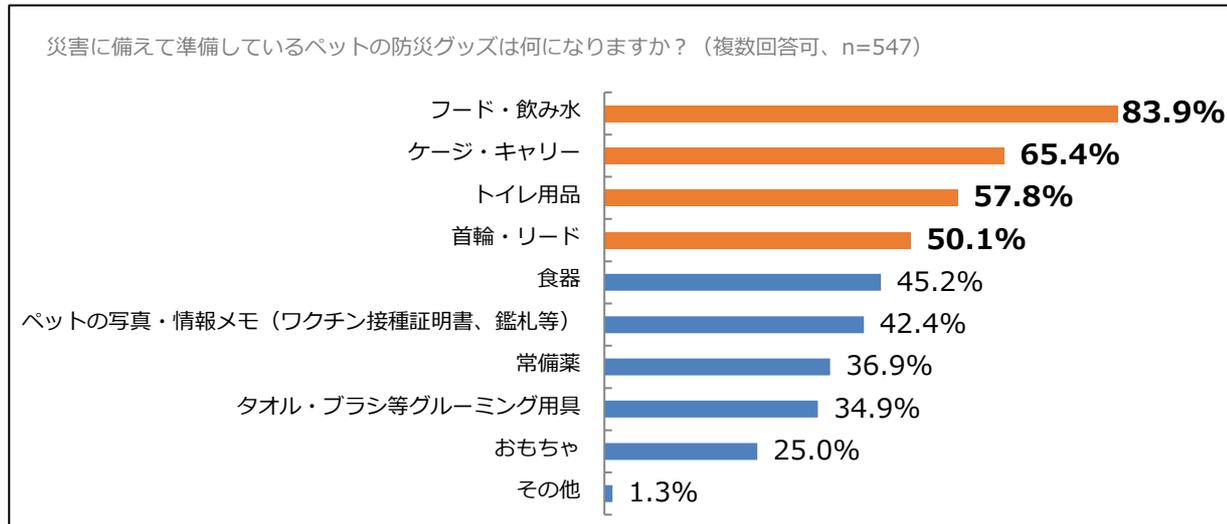
ペットの防災対策を始めるきっかけとして「被災した経験はないが実際に目の当たりにした」(27.6%)、「実際に被災し必要だと感じた」(18.8%)の回答が特に多く、全体の46.4%を占めました。実際に目の当たりにしたり、身の回りで起きた経験をきっかけとして防災対策を始めている傾向がうかがえました。

	n	実際に被災し必要だと感じたから	被災した経験はないが実際に目の当たりにしたから	家族・友人・知人からのすすめ	テレビ・ラジオ	雑誌・新聞	インターネット (SNS等)	インターネット (コラム・ブログ)	ペットショップ (ホームセンター等)	その他	
全体	547	18.8%	27.6%	15.4%	14.4%	4.2%	10.2%	5.7%	2.4%	1.3%	
ペットと暮らして何年になりますか？	0～1年	25	24.0%	4.0%	8.0%	28.0%	4.0%	12.0%	8.0%	4.0%	8.0%
	2～3年	94	18.1%	28.7%	19.1%	9.6%	4.3%	11.7%	7.4%	1.1%	0.0%
	4～5年	130	15.4%	21.5%	26.2%	12.3%	4.6%	10.0%	5.4%	3.8%	0.8%
	6～10年	105	16.2%	30.5%	17.1%	11.4%	2.9%	13.3%	3.8%	2.9%	1.9%
	11～15年	59	25.4%	28.8%	6.8%	18.6%	6.8%	3.4%	8.5%	0.0%	1.7%
	16年以上	134	20.9%	34.3%	6.0%	17.9%	3.7%	9.7%	4.5%	2.2%	0.7%

ペットの飼育年数別で見ると6年以上の「ペットの飼育歴が長い方」は実際に身の回りで起きた「飼い主自身の経験」がきっかけとなり防災対策を始めていますが、飼育歴1年以内の飼育初心者の方は、飼育経験が浅いためか、テレビ・ラジオ等「外部からの情報」をきっかけとして防災対策を始める傾向がうかがえまし

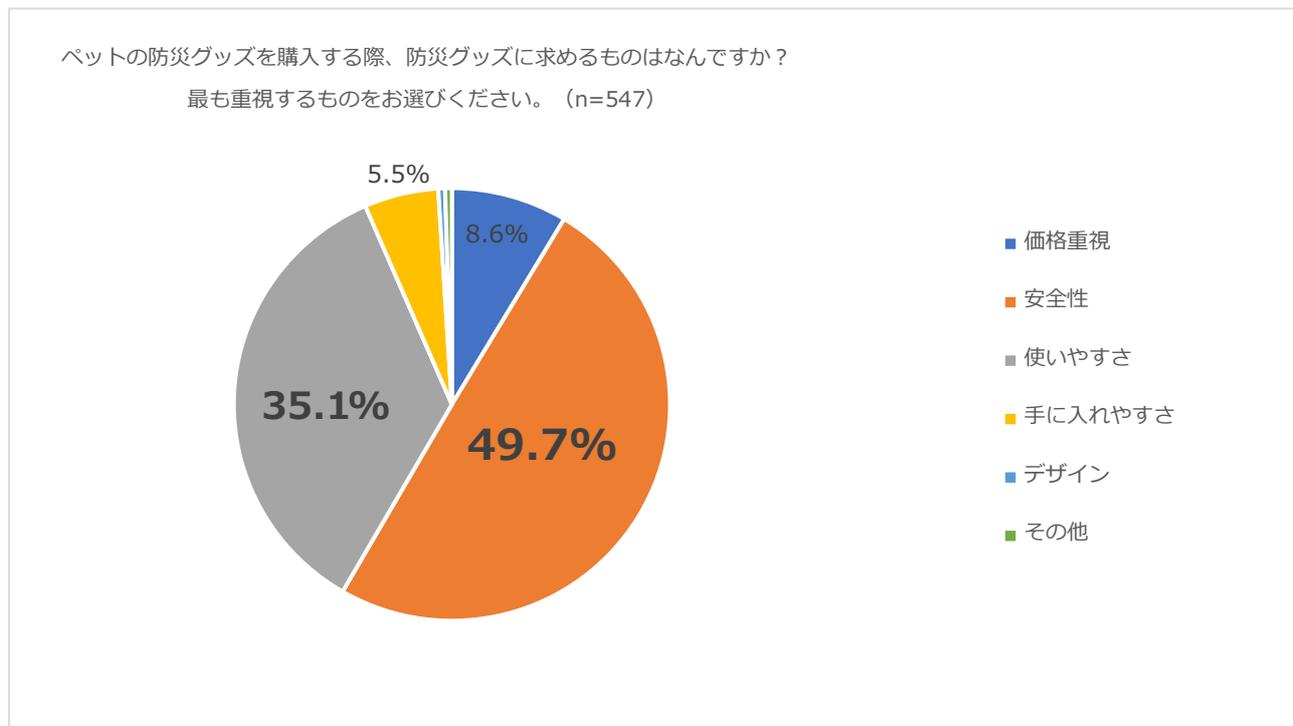
た。

2、防災グッズは避難時だけでなく、実用性を兼ね備えたものを準備。



「災害に備えて準備しているペットの防災グッズは何になりますか」の質問に、83.9%の方が「フード・飲み水」と回答し、以下「ケージ・キャリー」65.4%、「トイレ用品」57.8%、「首輪・リード」50.1%と防災対策としてだけでなく、普段の生活でも使用できる実用的なグッズを用意している事が分かりました。防災に特化したグッズとしては、「滑り止めマット」「テントとスクリーンタープ」などがありました。体育館などの施設内へ避難した時への対策として準備されているのではないかと考えられます。

3、ペットの防災グッズに求めるものは「価格」よりも「安全性」「使いやすさ」。



「ペットの防災グッズを購入する際、防災グッズに求めるものはなんですか？」の質問に対して、49.7%の方が「安全性」と回答しました。次に多かったのは「使いやすさ」の35.1%となり、「価格重視」や「手に入れやすさ」はあまり重要視されておらず、防災グッズ準備には被災時の安全性や使用感といった実用性が優先されていることがわかりました。

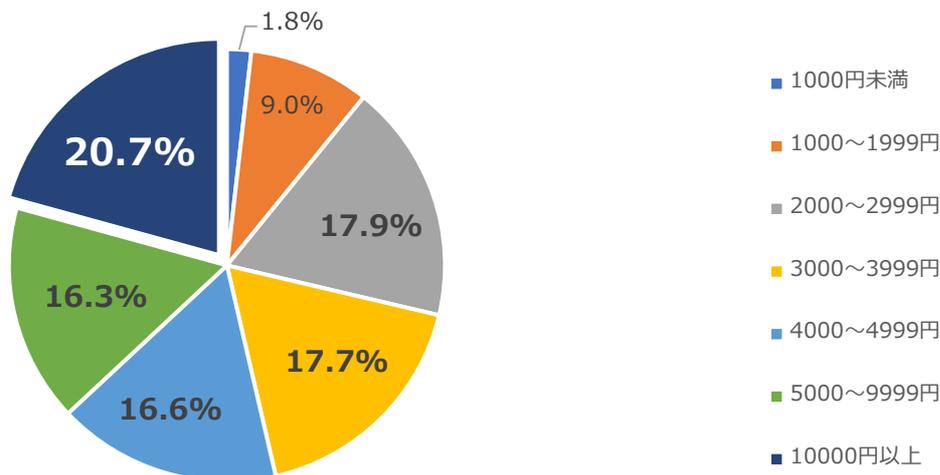
その他の回答には「災害までの保管性の良さ」「素材がたしかで、材料臭や倉庫臭、経年劣化の心配がない」などのいつ起こるか分からない災害への保管や避難を具体的に想定した回答もありました。

	n	価格重視	安全性	使いやすさ	手に入れやすさ	デザイン	その他	
全体	547	8.6%	49.7%	35.1%	5.5%	0.5%	0.5%	
ペットと暮らして何年になりますか？	0～1年	25	12.0%	60.0%	16.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	2～3年	94	10.6%	56.4%	26.6%	5.3%	1.1%	0.0%
	4～5年	130	12.3%	48.5%	31.5%	6.9%	0.8%	0.0%
	6～10年	105	5.7%	51.4%	39.0%	3.8%	0.0%	0.0%
	11～15年	59	3.4%	44.1%	44.1%	3.4%	1.7%	3.4%
	16年以上	134	7.5%	45.5%	41.0%	5.2%	0.0%	0.7%

また、飼育年数別で見ると飼育歴1年以内の方の6割は「安全性」と回答しており全体で2番目に多かった「使いやすさ」は2割にも満たない結果となりました。一方で飼育歴が6年以上になると、「使いやすさ」と回答した方の割合が高まり、安全性だけでなく実用性も兼ね備えたものを選ぶ傾向になっていることがうかがえます。

4、ペットとの暮らしが長いと防災グッズにかかる費用も上がる。

ペットの防災グッズにかけてもいいと思う費用はいくらになりますか？ (n=547)



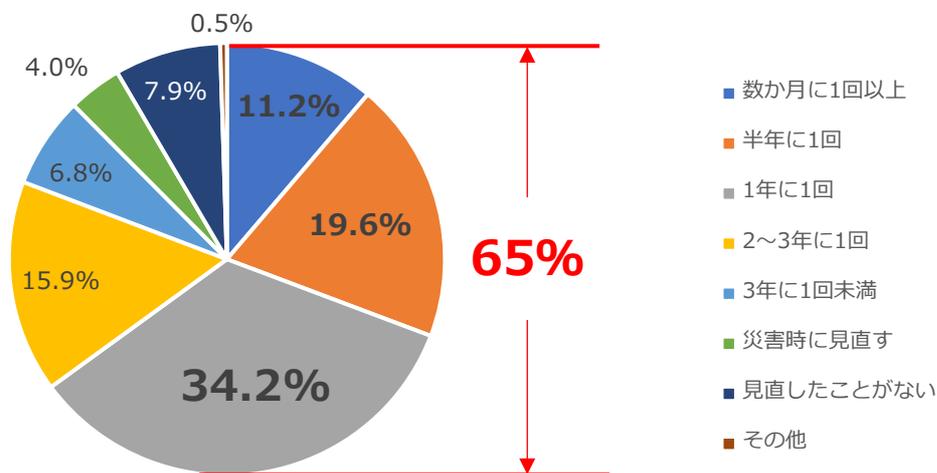
	n	1000円未満	1000~1999円	2000~2999円	3000~3999円	4000~4999円	5000~9999円	10000円以上	
全体	547	1.8%	9.0%	17.9%	17.7%	16.6%	16.3%	20.7%	
ペットと暮らして何年になりますか？	0~1年	25	4.0%	20.0%	16.0%	8.0%	16.0%	20.0%	
	2~3年	94	2.1%	13.8%	34.0%	18.1%	11.7%	7.4%	12.8%
	4~5年	130	0.0%	4.6%	26.2%	28.5%	22.3%	10.8%	7.7%
	6~10年	105	3.8%	7.6%	9.5%	19.0%	19.0%	21.0%	20.0%
	11~15年	59	0.0%	6.8%	11.9%	13.6%	15.3%	30.5%	22.0%
	16年以上	134	2.2%	9.7%	8.2%	9.7%	13.4%	17.9%	38.8%

「ペットの防災グッズにかけてもいいと思う費用はいくらになりますか？」の質問への回答で最も多いものは「10,000 円以上」20.7%となっており、一定額の費用を防災対策に使用している事がうかがえます。

「10,000 円未満」の回答では偏りは少なかったですが、ペットと暮らす年数が長くなるにつれてかける費用が増加していく傾向がうかがえます。

5、約9割がペット防災グッズの定期的な見直しを実施。半数以上の方は年1回以上実施。

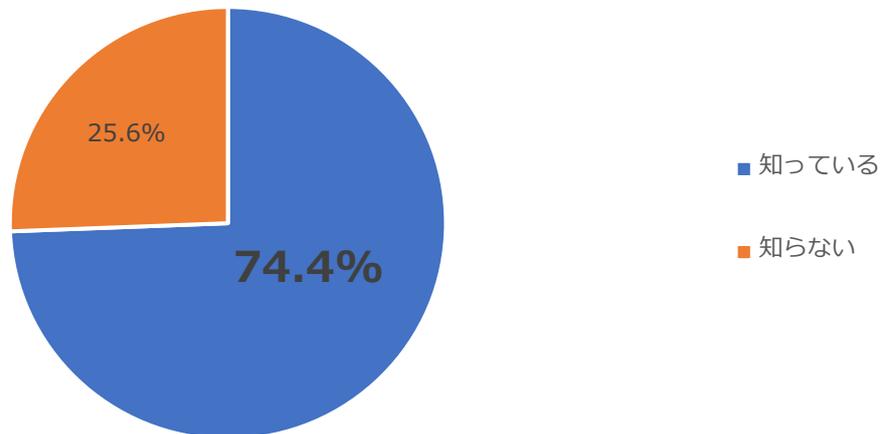
ペットの防災グッズはどのくらいの頻度で見直していますか？ (n=547)



「ペットの防災グッズはどのくらいの頻度で見直していますか？」の質問に、最も多かった回答は「1年に1回」(34.2%)、で次に「半年に1回」(19.6%)、「2~3年に1回」(15.9%)の順で全体の約9割の方がペットの防災グッズの定期的な見直しを実施していることが分かりました、また65%の方が1年に1回以上見直しを行っており防災対策を徹底していることがうかがえます。

6、約7割が「ペットは飼い主との同行避難が原則」と知っている。

あなたは環境省発行の「人とペットの災害対策ガイドライン」において、
ペットは飼い主との「同行避難」が原則であるをご存知でしょうか？（n=547）

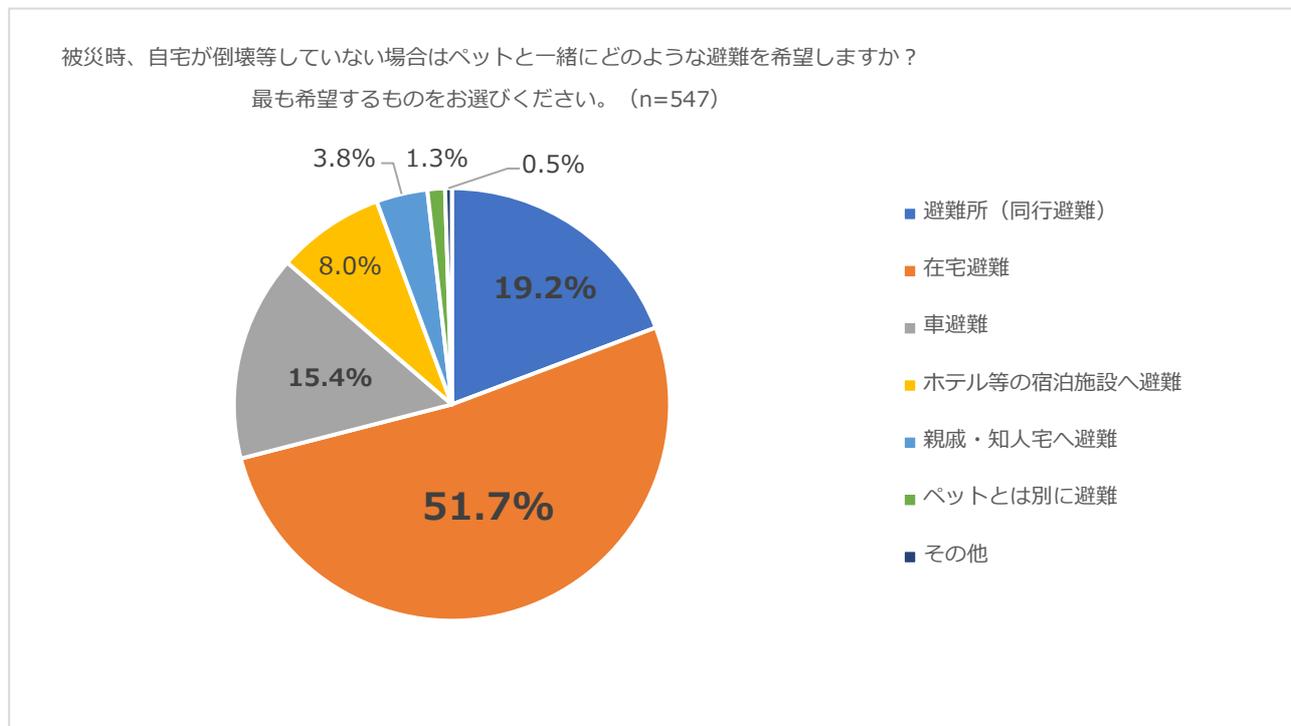


「あなたは環境省発行の「人とペットの災害対策ガイドライン」において、ペットは飼い主との「同行避難」が原則であるをご存知でしょうか？」との質問に74.4%の方が「知っている」と回答しました。ペットの防災対策を実施している方は防災意識が高く、人とペットの災害対策ガイドラインをしっかりと確認していることがわかりました。

参考)環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」

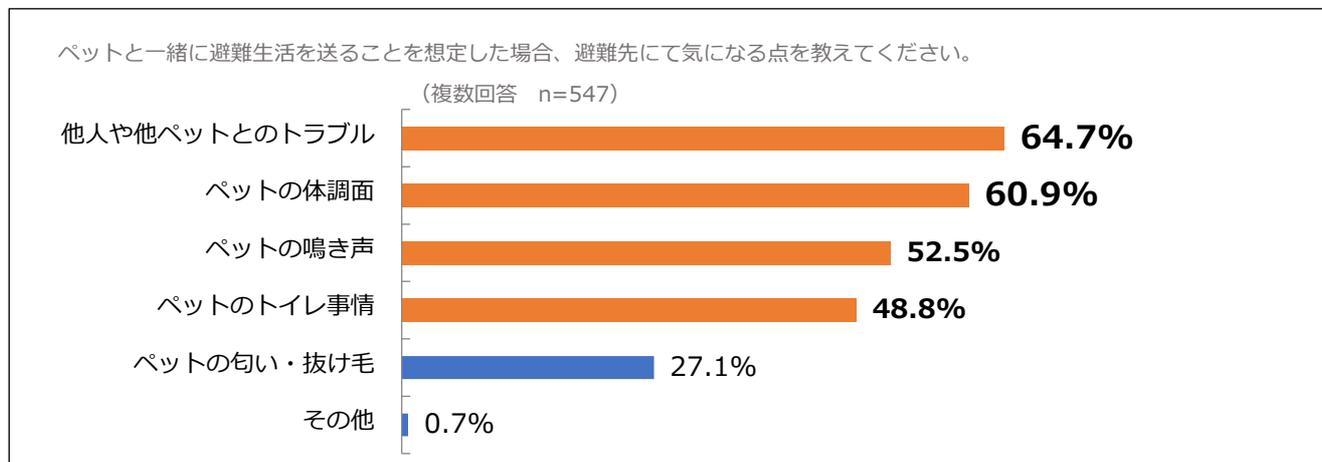
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3002.html

7、被災時は「在宅避難」「車避難」が7割。



「被災時、自宅が倒壊等していない場合はペットと一緒にどのような避難を希望しますか？」の質問には、「在宅避難」(51.7%)が半数を占め、「車避難」15.4%と合わせると全体の約7割の方が自身の生活エリア内での避難の留まるという結果になりました。それに対し「避難所（同行避難）」と回答した方は19.2%であり、多くの飼い主が周りの目を気にしてペットと一緒に避難することを避けようと意識しているのではないかと考えられます。その他の回答としては「セカンドハウス」等の回答もありました。

8、ペットとの同行避難では「他人や他ペットとのトラブル」「ペットの体調」を危惧。



また、「ペットと一緒に避難生活を送る事を想定した場合、避難先にて気になる点を教えてください」との質問では、64.7%が「他人や他ペットとのトラブル」が一番気になるとの回答結果となりました。

次に多かったのは「ペットの体調面」60.9%、「ペットの鳴き声」52.5%、「ペットのトイレ事情」48.8%と普段と違う環境で生活する事によるペットへの不安が多くなる結果となりました。

	n	ペットの体調面	他人や他ペットとのトラブル	ペットの鳴き声	ペットのトイレ事情	ペットの匂い・抜け毛	その他	
全体	547	60.9%	64.7%	52.5%	48.8%	27.1%	0.7%	
ペットと暮らして何年になりますか？	0～1年	25	56.0%	68.0%	60.0%	36.0%	16.0%	0.0%
	2～3年	94	46.8%	69.1%	46.8%	34.0%	14.9%	0.0%
	4～5年	130	53.8%	63.1%	49.2%	42.3%	15.4%	0.8%
	6～10年	105	58.1%	62.9%	54.3%	54.3%	33.3%	2.9%
	11～15年	59	74.6%	72.9%	55.9%	66.1%	32.2%	0.0%
	16年以上	134	74.6%	60.4%	55.2%	56.0%	41.8%	0.0%

飼育年数別で見るとペットと暮らして「11～15年」「16年以上」の方は「ペットの体調面」の回答が多い傾向がありました。

■ アンケート回答者属性

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計が100%にならない場合があります。

また、複数選択可の設問で得られた回答は、選択肢の合計が100%を超える場合があります。

